

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

日本における菌血症由来のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌の遺伝子型による特徴の違い

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2019年5月1日～2019年9月30日までに、昭和大学病院を受診された方、または入院された方で、血液培養からメチシリン耐性黄色ブドウ球菌が検出された方が対象です。

### 2. 研究目的・方法

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）は日本で最も多い薬剤耐性菌です。この研究では、日本感染症学会で研究参加施設を公募・選定し、各施設で検出された菌血症由来のMRSAについて薬剤感受性および遺伝子の検査をします。その結果から、遺伝子の違いによってMRSA感染症に有効な薬剤が異なるのか明らかにする研究です。

患者さんの血液から検出されたMRSAの菌株の遺伝子について検査を行い、細菌の遺伝子の違いによって検体情報や薬剤感受性が違うのか解析します。

### 研究期間

2019年5月1日～2020年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

（試料）血液から検出された細菌（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）

（情報）施設名、提出診療科、提出日、提出時期（外来／入院48時間以内／入院48時間以降）、入院からの経過日数、菌株同定機器、薬剤感受性（機器名および各施設での結果）

### 4. 外部への試料・情報の提供

個人情報の保護のため、取得した診療情報は個人情報管理責任者が匿名化情報（個人情報を含む）にします。すなわち、診療情報から個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し、独自の記号を付すとともに対応表を作成します。これにより、どの研究対象者の試料・情報であるか直ちに判別できないよう加工します。得られた診療情報、対応表および解析結果は各施設内の外部から切り離されたコンピューター内に保存されます。

また、匿名化情報は、昭和大学病院感染症内科（提供元）から長崎大学病院検査部（提供先）へ送付されます。

提供元は、得られた全ての情報を本研究終了時に研究の中止または終了後少なくとも5年間、あるいは研究結果発表後3年が経過した日までの間のどちらか遅い期日まで保存・管理します。提供先は、得られた全ての情報を提供先の長崎大学病院長の責任において研究終了後5年間保存・管理します。

得られた成果は、個人情報保護に配慮したうえで学会や論文に発表される予定です。

#### 5. 研究組織

長崎大学病院 賀来敬仁 ほか、日本感染症学会で研究参加施設を公募・選定された医療機関（2019年3月27日現在、48施設の予定）

#### 6. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学医学部 内科学講座 臨床感染症学部門 氏名： 時松 一成

住所： 東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8000（代表）

研究責任者：

昭和大学病院 感染症内科 時松一成

研究代表者：

長崎大学病院 検査部 氏名 賀来 敬仁